

飛躍

森町立旭が丘中学校 第3学年
学年通信 第27号
2020年10月28日(水)
文責 太田 雄司

後期学級委員 お願いします!!

10月26日(月)に後期の学級組織がスタートしました。中学校生活最後の学級での役割となります。一人一人が、自分の役割に強い自覚と責任感をもって活動に取り組んでもらいたいと思います。さて、後期の学級委員は中学校生活最大の目標である「進路実現」「感動の卒業式」を達成させる時期の学級委員となります。今まで以上に学級委員の責任は重くなり、プレッシャーも多くかかってくると思いますが、前期の様々な経験を通して培ってきたそれぞれの学級のよさや高めてきた力をさらに伸ばしながら、誰もが「この学級で良かった」と思えるような学級作りをさらに進めていってほしいと思います。また、3年生一人一人が「受検に向けて意欲的に学習に取り組もう」「感動の卒業式にしよう」という意識をもって毎日の生活を送れるような学級・学年の雰囲気、学級委員のリーダーシップのもと作り上げていくことを期待します。そして、3年生全員が今まで通り目の前のことに全力で挑戦することで、さらにレベルアップし、3月に「大輪の花」を咲かせてほしいと思います。



旭が丘中学校で過ごす最後の5か月となりました。義務教育のまとめ、旭が丘中学校での生活の締めくくりが素晴らしいものとなるよう、御家庭でも励ましをお願いいたします。

今回は後期学年運営委員(学級委員)の決意を紹介します。

後期学年運営委員のメンバー

◎学年委員長 村松咲太郎(3組)
学年副委員長 細田 健斗(1組) 内山みのり(1組) 谷口 暁音(2組)



	1 組	2 組	3 組
男子	細田 健斗	村松 衛	村松咲太郎
女子	内山みのり	谷口 暁音	武田 詩生

学年委員長 3組 村松咲太郎 君

僕は、1年生の前期に学級委員を務めていますが、当時はリーダーとしての意識が甘く、自分としては不甲斐ない結果に終わりました。その当時の反省や2年間生徒会役員をした経験を生かして全員が受検という大きな目標に向かっていけるように、そして全員がこのクラス、この学年で過ごすことができよかったと思えるように、一つ一つの授業での態度や時間を意識して行動するなどメリハリのついた生活を意識して活動をしていきたいと思っています。よろしくをお願いします。

学年副委員長 1組 細田 健斗 君

中学校最後の学級委員ということで、学年全員が笑顔で終われるようにしていきたいです。僕たちは受検が控えているので、学年全体の過ごし方が大切になると思います。現在でも休み時間や昼休みなどに勉強をしている人はいますが、今よりも多くの方が勉強をする雰囲気を作れば、受検に対する意識も高まると思います。それには学級委員が姿を見せていく必要があると思うので頑張りたいです。二大行事の一つである「飛躍祭」も残っています。まずは目の前の一つ一つのことを学年全体で頑張りたいです。

学年副委員長 1組 内山みのり さん

私は、全員が何事にも全力で取り組めるクラスにしたいと思っています。そのために、自分が誰よりも全力で全てのことにチャレンジしていきます。特に今後行われる飛躍祭に向けて、クラスみんなが満開の笑顔を咲かせられるよう、練習をサポートします。また高校受検に向けて大切な時期になるので、学習に向かう姿勢や雰囲気作りを心掛けたいです。クラス一丸となって努力することで全員が進路実現を果たし、新しい希望に向かって全員が卒業できるようにしたいと思います。

学年副委員長 2組 谷口 暁音 さん

私は3度目の学級委員をさせてもらいます。だからこそクラスのためにできること、クラスそして学年がよりよくなっていくことを考えていくことが出来ると思います。「誰からも応援される3年生⇒受検生⇒卒業生」になるためには3年生全員が頑張っていく姿を示していかなければなりません。緩むこともあると思います。それをどう引き締め直すのか。引き上げていくのかをみんなで考えていかないとはいけません。私は考え、そして行動に移していけるようにしたいと思います。しかし、私の考えが違うと思うことがあるかもしれません。そのときは意見を言ってください。様々な意見を生かし、独りよがりではない活動をしていきたいと思っています。

2組 村松 衛 君

ロッカーやスリッパの整頓など、人として出来て当たり前部分を全員が出来るように呼び掛けクラス全体で受検意識が高められるよう、まずは自分から意識していきます。感動の卒業式にするためには、一人一人の仲の良さや学年全体の雰囲気大切だと思うので自分のクラスで問題があった時にはしっかりと元に戻れるように協力し、学級委員を中心に学年の雰囲気がよくなるようにしていきたいです。

3組 武田 詩生 さん

中学校生活最後の3年後期というとても大切な時期に学級委員を務めさせていただくことになりました。後期は入試、そして卒業式があります。3年3組が“誰からも応援されるクラス”になるよう、学級目標である「夢限大」に向かってクラス全員で団結し、努力していきたいと思っています。3月にはクラス全員が3年3組、旭が丘中でよかったと思って卒業できるよう、学級委員という立場に責任をもち、今までの経験を生かして精一杯頑張っていきます。よろしくお願いします。

学級委員の皆さん よろしくお願ひします



「一人一人が自分の仕事をきちっとこなすこと。」

この個人プレーの連携が、真のチームプレーなのだ。」



1年生の前期がスタートするときこの言葉を学年通信で紹介しました。ラグビーの元スター選手の言葉です。そのときの学年通信にも書きましたが、この言葉はよい学級・学年を作っていく上でも当てはまる言葉です。学級委員や一部のリーダーが頑張るのではなく、3年生の生徒全員が自分のすべきことに本気で、全力で取り組んでこそ、よい学級・学年が作れるのです。3年生は、この先「進路実現」「感動の卒業式」という中学校生活最大の目標に向かって大きな勝負をする時期になります。その目標を達成するためには「誰からも応援される3年生⇒誰からも応援される受検生⇒誰からも応援される卒業生」を体現させなくてはなりません。そして、誰からも応援されるためには、一人一人が学校生活のあらゆることに、そして、今目の前にあることに全力で取り組むことが大切になります。具体的に言えば「毎時間の授業」「自分の役割」「飛躍祭の練習」等に脇目も振らず、隙を作らず、自分の弱さや甘さに負けず、必死に取り組む「3年生の底力」「格の違い」を見せつけることです。一人一人が学級・学年の大事な存在です。誰一人として欠くことはできません。3年生全員が同じ気持ちになって学校生活を送っていけば、必ず誰からも応援されるようになります。勝負の世界では、誰からも応援される人間性や多くの人に好かれて「力になりたい」と思われるような人間性が必要になります。だからこそ、この先も一日一日を後悔しないように全力で過ごし、一度しかない今を積み重ねていくことで「誰からも応援される集団」になってほしいと思います。一人一人の本気・全力を期待しています。